

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3069 URL <https://j-fla.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作
問合せ先責任者 (役職名) 法務総務部長 (氏名) 尾崎 富彦 (TEL) 03(6311)8892
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	16,357	1.7	471	21.9	418	90.0	374	892.0
2026年3月期第1四半期	16,079	△1.5	386	△22.5	220	△53.3	37	△92.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 167百万円(△26.9%) 2026年3月期第1四半期 229百万円(△58.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	7.77	—
2026年3月期第1四半期	0.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	39,898	10,194	20.8
2026年3月期	40,503	10,146	20.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 8,315百万円 2026年3月期 8,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	—
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	66,000	0.5	1,550	1.5	1,300	0.6	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	48,277,135株	2026年3月期	48,277,135株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	52,210株	2026年3月期	52,030株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	48,224,982株	2026年3月期1Q	48,228,182株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2027年3月期の業績予想におきましては、引き続き、構造改革に伴う事業整理等による精査が必要との判断から、現時点では親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想は記載しておりません。

なお、今後の見通しにつきましては、業績予想の精査、並びに連結業績に与える経営数値の合理的な予想が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	60,000.00	60,000.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		—	—	60,000.00	60,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかに持ち直しました。一方で物価上昇に伴う生活コストの高止まりが消費者マインドを下振れさせているほか、緊迫する中東・ウクライナ情勢といった地政学的リスク、為替相場の不安定な推移など国内経済を下押しする懸念材料が重なり、予断を許さない状況が続いております。

食品業界におきましては、社会活動の活発化やインバウンド需要の拡大を追い風に外食・中食市場が堅調に推移した反面、物価上昇が家計の負担となった内食市場は厳しい事業環境となりました。また、原材料、容器包装資材、エネルギー価格の高騰に加え物流費や人件費の上昇が企業収益を圧迫しております。消費者の購買行動は、低価格を求める「防衛的な節約志向」と品質やタイムパフォーマンスを重視する「付加価値志向」への二極化が進んでおり、多様化するニーズへの柔軟な対応とコストコントロールの両立が強く求められる状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、事業再生計画の3期目に当たる当期においても、同計画に基づく構造改革施策を着実に推進しました。これに加え資産効率の徹底的な向上とキャッシュ・フローを重視した経営への転換を進めるとともに、ガバナンスの強化をはじめとする経営基盤の高度化に取り組みました。これらの施策を通じて、不安定な事業環境に左右されない強固な経営基盤の確立と持続的な企業価値の向上に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16,357百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は471百万円(前年同期比21.9%増)、経常利益は418百万円(前年同期比90.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は374百万円(前年同期比892.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①生産

九州乳業株式会社は、牛乳や乳飲料、ヨーグルトが好調に推移したことにより増収となったものの、材料費や人件費等の上昇に伴い減益となりました。茨城乳業株式会社は、牛乳の販売が減少した一方でヨーグルトやプリン類の売上が伸長したこと等により、高い利益水準を維持いたしました。株式会社弘乳舎は、前期に引き続き収益性の高い余乳処理受託加工収入が増加し、またアイスクリームも堅調に推移したこと等により増益となりました。盛田株式会社は、醤油(特にBtoB販売)や醸造調味料、つゆ・たれ類が順調に推移したことに加え、引き続き採算性を重視した販売戦略を徹底したこと等により増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は11,488百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は747百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

②流通

株式会社アルカンは、冷凍フルーツの「アンドロスシェフ」、ショコラの「アラン・デュカス」、ジュースの「アラン・ミリア」の販売は堅調に推移したものの、主力商品の「Kiriクリームチーズ」では前年同期の好調な販売の反動減が生じたことから、全体では減収となりました。また、為替相場の変動影響等も加わり、減益となりました。海外子会社においては、製品ポートフォリオの見直し等による増収はあったものの、仕入価格の高騰に加え、人件費や地代家賃の増加等により、減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,278百万円(前年同期比2.4%増)、営業損失は36百万円(前年同四半期は営業損失4百万円)となりました。

③販売

株式会社アルテゴは、ホールセール(小売)において主要取引先の販売が引き続き好調に推移し、「MOMI&TOY'S」では価格帯を含めた商品戦略を推進したものの、「BAGEL&BAGEL」における店舗数の減少等が影響し、全体では減収減益となりました。株式会社菊家は、卸部門において土産関連商品の販売が堅調に推移した一方、OEM取引が減少しました。また、店舗部門では重点商品の販売施策が奏功し改善傾向がみられたものの店舗数の減少等が影響し、全体では減収減益となりました。海外子会社におきましては、事業ポートフォリオの見直しに伴う構造改革が進んだこと等により損益が改善しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,502百万円(前年同期比18.1%減)、営業損失は43百万円(前年同四半期は営業損失26百万円)となりました。

④その他

ウェルエイジング事業等の当第1四半期連結累計期間における売上高は88百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は12百万円(前年同期比61.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は39,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ605百万円減少いたしました。

負債合計は29,703百万円となり、前連結会計年度末に比べ652百万円減少いたしました。

純資産合計は10,194百万円となり、前連結会計年度末と比べ47百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、構造改革に伴う事業整理等による精査が必要との観点から、業績予想は記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となりましたら、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,556,144	3,901,213
受取手形及び売掛金	8,406,824	8,279,046
商品及び製品	4,436,887	4,861,842
仕掛品	1,877,588	1,911,898
原材料及び貯蔵品	1,177,672	1,280,069
その他	1,065,864	921,108
貸倒引当金	△66,145	△62,561
流動資産合計	21,454,835	21,092,617
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,802,868	7,802,868
その他（純額）	6,482,179	6,673,044
有形固定資産合計	14,285,048	14,475,913
無形固定資産		
のれん	860,958	796,171
その他	63,045	58,291
無形固定資産合計	924,004	854,462
投資その他の資産		
その他	4,731,642	4,360,827
貸倒引当金	△892,267	△885,619
投資その他の資産合計	3,839,375	3,475,208
固定資産合計	19,048,428	18,805,584
資産合計	40,503,264	39,898,201

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,340,426	5,387,608
短期借入金	160,923	149,506
1年内返済予定の長期借入金	659,283	659,283
未払法人税等	343,356	104,590
賞与引当金	294,081	136,654
店舗閉鎖損失引当金	5,000	403
その他	3,444,992	2,972,130
流動負債合計	10,248,063	9,410,177
固定負債		
長期借入金	17,373,108	17,373,105
債務保証損失引当金	41,927	40,759
退職給付に係る負債	461,663	442,002
資産除去債務	473,808	543,717
その他	1,757,818	1,893,649
固定負債合計	20,108,325	20,293,233
負債合計	30,356,389	29,703,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801,306	3,801,306
資本剰余金	10,852,307	10,732,307
利益剰余金	△6,055,758	△5,680,902
自己株式	△18,046	△18,076
株主資本合計	8,579,809	8,834,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423,256	215,009
為替換算調整勘定	△717,794	△708,394
退職給付に係る調整累計額	△7,542	△25,666
その他の包括利益累計額合計	△302,079	△519,051
非支配株主持分	1,869,145	1,879,207
純資産合計	10,146,875	10,194,790
負債純資産合計	40,503,264	39,898,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	16,079,666	16,357,836
売上原価	11,769,123	11,997,094
売上総利益	4,310,542	4,360,741
販売費及び一般管理費	3,923,980	3,889,470
営業利益	386,561	471,271
営業外収益		
受取利息	2,581	2,974
受取配当金	3,642	4,768
貸倒引当金戻入額	23,426	19,937
為替差益	—	57,762
その他	31,494	23,871
営業外収益合計	61,145	109,315
営業外費用		
支払利息	111,210	122,619
為替差損	78,204	—
持分法による投資損失	4,185	5,235
その他	33,778	34,141
営業外費用合計	227,379	161,995
経常利益	220,326	418,590
特別利益		
固定資産売却益	69	10,608
投資有価証券売却益	—	158,712
受取保険金	8,685	—
債務保証損失引当金戻入額	5,911	—
その他	2,348	3,304
特別利益合計	17,014	172,625
特別損失		
固定資産売却損	2,233	—
固定資産除却損	119	16,891
減損損失	—	15,835
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8,954	—
その他	—	1,560
特別損失合計	11,307	34,288
税金等調整前四半期純利益	226,033	556,927
法人税等	186,448	170,865
四半期純利益	39,585	386,062
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,799	11,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,786	374,855

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	39,585	386,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	176,346	△208,328
為替換算調整勘定	20,165	9,037
退職給付に係る調整額	△6,195	△18,824
その他の包括利益合計	190,315	△218,116
四半期包括利益	229,901	167,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,598	157,884
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,697	10,061

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	生産	流通	販売	計		
売上高						
物品の販売・サービス	10,950,661	3,178,184	1,822,834	15,951,679	8,688	15,960,368
手数料収入	—	903	12,455	13,359	19	13,378
その他	—	—	—	—	62,486	62,486
顧客との契約から生じる収益	10,950,661	3,179,087	1,835,290	15,965,039	71,194	16,036,233
その他の収益	1,198	22,830	—	24,028	19,403	43,432
外部顧客に対する売上高	10,951,859	3,201,917	1,835,290	15,989,068	90,598	16,079,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	205,593	81,669	26,533	313,796	41,793	355,589
計	11,157,453	3,283,586	1,861,824	16,302,864	132,391	16,435,255
セグメント利益又は損失(△)	618,569	△4,305	△26,185	588,078	7,823	595,902

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルエイジング事業等の売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	588,078
「その他」の区分の利益	7,823
全社費用(注)	△ 209,340
四半期連結損益計算書の営業利益	386,561

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	生産	流通	販売	計		
売上高						
物品の販売・サービス	11,487,110	3,252,472	1,490,217	16,229,799	6,369	16,236,168
手数料収入	—	320	12,465	12,785	127	12,913
その他	—	—	—	—	63,620	63,620
顧客との契約から生じる収益	11,487,110	3,252,792	1,502,682	16,242,585	70,116	16,312,701
その他の収益	1,075	25,786	—	26,861	18,273	45,134
外部顧客に対する売上高	11,488,185	3,278,578	1,502,682	16,269,446	88,389	16,357,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	216,784	57,636	22,260	296,680	50,446	347,127
計	11,704,969	3,336,214	1,524,943	16,566,127	138,836	16,704,964
セグメント利益又は損失(△)	747,260	△36,084	△43,833	667,342	12,657	679,999

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルエイジング事業等の売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	667,342
「その他」の区分の利益	12,657
全社費用(注)	△ 208,728
四半期連結損益計算書の営業利益	471,271

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	260,663 千円	283,235千円
のれんの償却額	129,568 千円	64,715千円